

生活科『わたし、できるよ。ぼくも できるよ』について

生活科の学習のはじめに、子ども達が自信をもって小学校生活をスタートできるよう身の回りのことを扱います。ご家庭や幼稚園、保育園の生活の中で、子ども達は「自分のことは自分でやる」という意識をもっていると思いますが、小学校でも引き続きできることに取り組み、新しい事柄にも挑戦しようとする意欲をもってほしいと思います。

休校期間中にご家庭で取り組めそうな学校での生活習慣を、生活科の課題としました。



① かさや れいんこうとを たたもう

雨の日の登下校の際、昇降口で傘やレインコートを始末します。手が濡れてしまうので、ハンカチなどをポケットやランドセルから出して拭き取る必要もあります。おうちの玄関先などを昇降口に見立てて、ランドセルを背負ったまま挑戦してみてください。



② たいいくぎに きがえてみよう

体育の学習の前後に、教室の自分の席で着替えをします。体育着の袋から体育着と帽子を取り出して着替え、脱いだ服を袋にしまします。また、体育着から服に着替え、使い終わった体育着を袋に入れてしまします。



③ なわとびの かたづけをしよう

長い縄をまとめて結ぶのは子ども達にとってなかなか難しいことなので、学校でもゆっくり結び方を伝えています。ご家庭でも、はじめから結べなくても、まずは小さくまとめることから取り組んでみてください。



④ かみぱックを ひらいてみよう

給食で飲み終えた牛乳パックを、自分で開いて水ですすぎます。ご家庭で開いてみた際に、きれいに開けなくとも「牛乳パックを開くのに、こんなに力がいるんだな」「牛乳パックは、1枚の紙がのりで貼り合わさってできているのだな」ということに気付くことができればよいと思います。

(なお、課題カードではごく一般的な形の紙パックを例示していますが、給食の牛乳パックは 200ml入りの四角い形のもので、もしご家庭で四角い紙パックが空きましたら、開くことに挑戦してみてください。)



⑤ らんどせるに にもつを いたり だしたり しよう



ご家庭で次の日の持ち物を準備したり、教室で荷物を出し入れしたりと、自分で物の管理をするのはなかなか大変です。おうちのテーブルや椅子などを机に見立てて、ランドセルからの荷物を出し入れに挑戦してみてください。

それぞれの課題カードの最後には「ふりかえり」という欄があります。その課題に挑戦した日付と、○印を書くようになっています。日付の指定はしておりませんので、取り組めた日付をお書きください。

わたし、できるよ。ぼくも できるよ。①

～ かさや れいんこうとを たたもう ～

1ねん くみ なまえ

【はじめに】 1ねんせいの みなさんへ

せいかつか では、じぶんの せいかつの なかに ある
いろいろなものについて、よく みたり はなしてみたり します。

そして、じぶんで できることを みつけたり、じぶんの
せいかつを もっと よくしようと かんがえたり します。

いつもは きが つかなかったことに きづいたり、じぶんで
できるようになったことに うれしく なったり、
せいかつかは とっても たのしい おべんきょうですよ。



きょうの せいかつか

がっこうに いく とき、あめが ふったら かさを さしますね。
れいんこうとを きる ひとも いますね。

やってみよう!

① じぶんで かさを ひらいたり とじたり しよう。
(ひもで ほそく とじるのを わすれずに!)



② れいんこうとを きる ひとは、きたり ぬいだり しよう。
ぬいだら、たたんで ふくろに いれよう。

ふりかえり

★できたら ○をつけよう。↓

かさや れいんこうとを じぶんで よういして、
かたづけることができた。

にち にち にち

	にち	にち	にち

わたし、できるよ。ぼくも できるよ。②

～ たいいくぎに きがえて みよう ～

1ねん くみ なまえ

きょうの せいかつか

うんどうをする ときには うごきやすい ふくが いいですね。
がっこうでは、たいいくぎに きがえて うんどうを します。

やってみよう!



① たいいくぎと ぼうしを ふくろから だして、きがえよう。

- 1, うえを ぬぐ → うえを きる
- 2, したを ぬぐ → したを きる
- 3, ぼうしを かぶる



② ぬいだ ふくは、たたんで たいいくぎの ふくろに いれよう。

ふりかえり

★できたら ○をつけよう。↓

	にち	にち	にち
① じぶんで たいいくぎに きがえることが できた。			
② じぶんで ぬいだ ふくを たたんで、 たいいくぎの ふくろに いれることが できた。			



ちやれんじ!

じょうずに きがえられるようになつたら、じかんと きめて やってみよう

- 3ふんで きがえられた! ⇒ ()がつ()にち
- 5ふんで きがえられた! ⇒ ()がつ()にち

わたし、できるよ。ぼくも できるよ。③

～ なわとびの かたづけを しよう ～

1ねん くみ なまえ

きょうの せいかつか

なわとびをして あそんだことは ありますか。

なわとびで あそんだあとは、なわが からまないように まとめて おすびます。

やってみよう!



① なわの はしと はしを あわせて、
みじかく まとめよう。



② みじかく まとめた なわを、ひとつおすび しよう。

ふりかえり

★できたら ○をつけよう。↓



	にち	にち	にち
① じぶんで なわの はしと はしを あわせて、 みじかく まとめることが できた。			
② じぶんで なわを ひとつおすびに することが できた。			

わたし、できるよ。ぼくも できるよ。④
 ～ らんどせるに にもつを いたり だしたり しよう ～

1ねん くみ なまえ

きょうの せいかつか

らんどせるに、じぶんで にもつを いたり だしたり したことは ありますか。
 らんどせるには、たさんの にもつを いて はびます。
 がっこうに もっていく ものを らんどせるに いたり だしたり しましょう。

やってみよう!



① らんどせるに、つぎの ものを じぶんで 入れよう。

- ・こくごの きょうかしよ
- ・こくごの のうと
- ・さんすうの きょうかしよ
- ・さんすうの のうと
- ・れんらくぶくろ
- ・れんらくちょう
- ・じゆうちょう
- ・ふでばこ



② らんどせるに 入れたものを だして、きれいに かさねて
 てえぶる などにおいて みよう。

つくえがある ひとは、つくえの ひきだしに いて みよう。
 らんどせるに、もういちど にもつを いて みよう。

ふりかえり

★できたら ○を つけよう。↓

	にち	にち	にち
① らんどせるに、がっこうへ もっていく ものを じぶんで 入れる ことが できた。			
② らんどせるから じぶんで にもつを だして、 きれいに かさねて おく ことが できた。			

わたし、できるよ。ぼくも できるよ。⑤

～ かみぱっくを ひらいてみよう ～

1ねん くみ なまえ

きょうの せいかつか

おうちで、ぎゅうにゅうや じゅうすなどを のんだあと、かみぱっくを ひらいてみたことは ありますか。

しょうがっこうでは、きゅうしょくを たべおえたあとに ぎゅうにゅうぱっくを ひらいて、みずで あらいます。おうちで、からになった かみぱっくを ひらくことに ちょうせんして みましょう。

やってみよう!

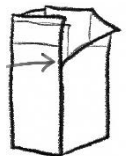


① かみぱっくの くちを しかくに ひらく。

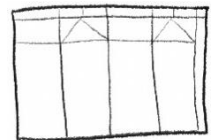


② かみぱっくの たての ふぶんで、かみが かさなっている ところを はがしながら ひらく。

かさなっている ところ



③ かみぱっくの その、かみが かさなっている ところを はがしながら ひらく。



ふりかえり

★できたら ○をつけよう。↓

ゆびに ちからを 入れて、かみぱっくを ひらくことが できた。

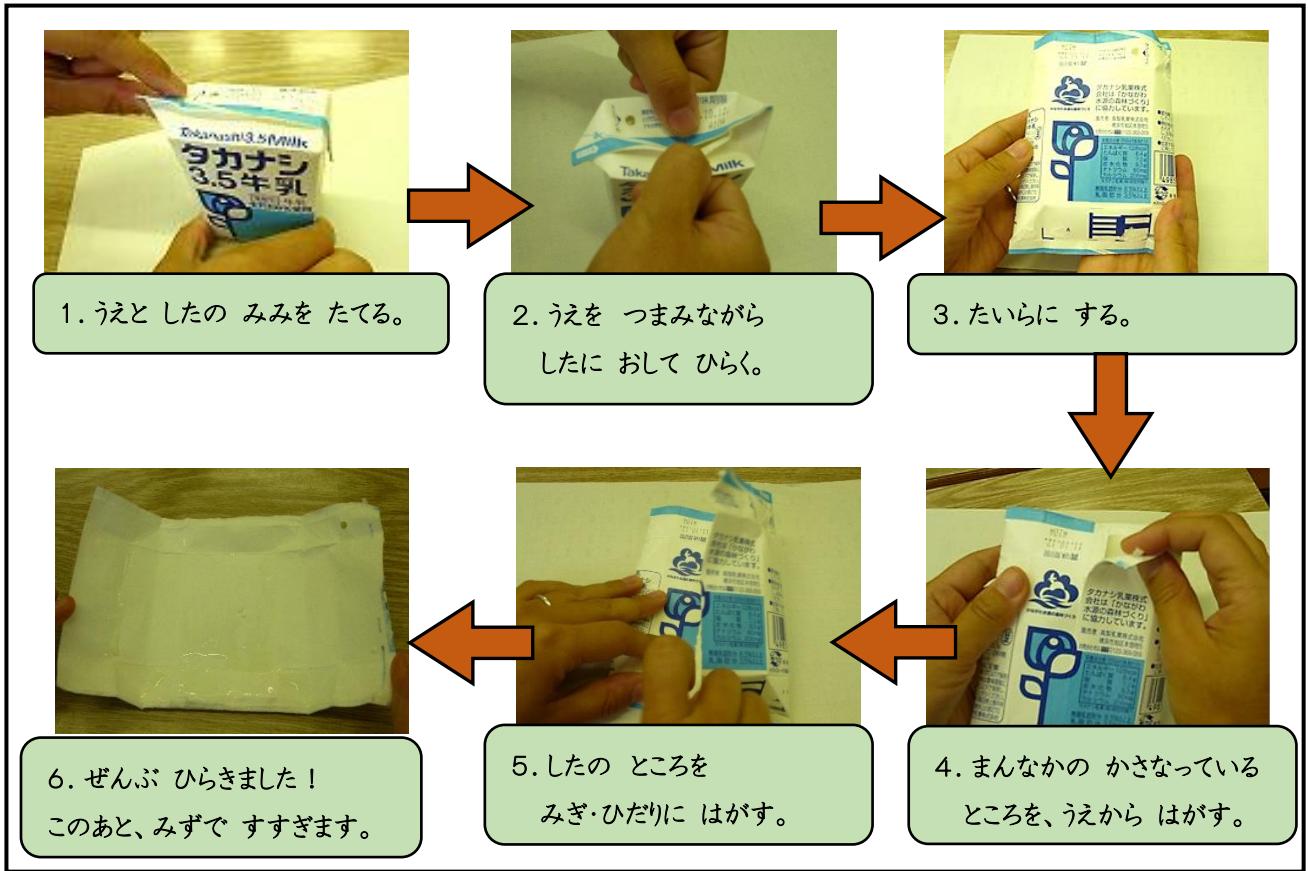
にち

にち

にち

	にち	にち	にち

【参考】牛乳パックの開き方



ちゃれんじ！

しょうがっこうのきゅうしょくは、じぶんたちでじゅんぴをします。
ごはんやおかずをよそったり、はしやぎゅうにゅうをおぼんにおいたりします。
そして、くらすのみんなのせきまできゅうしょくをはこびます。
(しょくじをはこぶことを、ちょっとむずかしいことばで「はいぜん」といいます。)
おうちでも、ごはんをよそったり、しょっきをはこんだり、てえぶるをふいたり、
じぶんでできることをどんどんやってみましょう。

おまけ

がっこうのきゅうしょくは えいようまんてんで、とってもおいしいよ。
にがてなものがあるひとは、ひとくちでもたべられるようにちゃれんじ！！してみようね。